オブジェクト指向プログラミング 期末試験

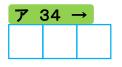
問題冊子

「はじめ」の合図があるまで 問題冊子を開いてはいけません。

- この問題冊子は、(表紙を除いて)15ページあります。
- ・この問題冊子は、10章に分かれており、各章に複数の問題があります。
- ・問題冊子に記載されているプログラムは、 全てプログラミング言語「Java」のプログラムです。
- ・各章の図とプログラムは、章ごとに独立しています。 また、各章のプログラムは、章ごとに完結しており、 他の章のプログラム(やその他のプログラム)に依存せずに独動作します。

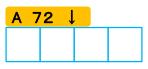
解答方法の例

例1)



カタカナの解答用紙に記入してください。 記入場所は、34番です。 記入方向は、横方向です。 記入する文字数は、3文字です。

例2)



アルファベットの解答用紙に記入してください。 記入場所は、72番です。 記入方向は、縦方向です。 記入する文字数は、4文字です。

1 基礎知識

Page 1

●UMLの構成要素

(1) ソフトウェアの目的を表すユースケース図

 ア 15 →

 (2) ソフトウェアの静的構造を表す
 ダイヤグラム

 ア 11 →
 ダイヤグラム

 (3) ソフトウェアの動的振る舞いを表す
 ダイヤグラム

●継承と委譲の比較

	継承	委譲			
7 18 ↓	容易	やや複雑			
柔軟性	7 20 ↓	F 7 →			

●インタフェースの特徴

(1) インタフェースを利用して、異なるクラスを同じものとして扱うことができる。

 ア 22 ↓

 (2) インタフェースを利用して、ソフトウェアの
 を簡単に変更できる。

 ア 22 ↓

 (3) インタフェースを利用して、必要な
 だけを公開することができる。

●デザインパターン

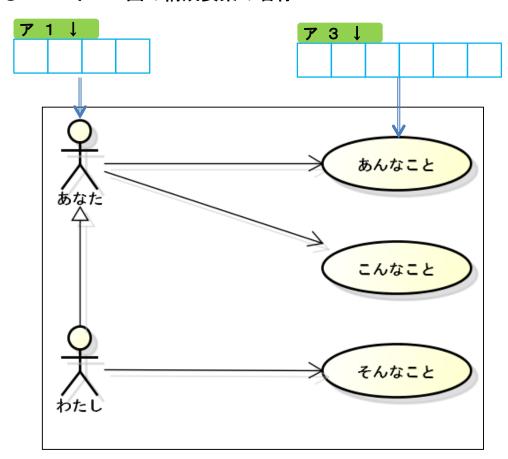
(1) E.Gamma, Helm.R, R.Johnson, J.Vissides,の4人が著書

A 30 →
「Design Patterns」で 個のデザインパターンを提示した。

ア 25 →(2) デザインパターンは に依存しない。

(3) どのデザインパターンにも長所と短所がある。

●ユースケース図の構成要素の名称



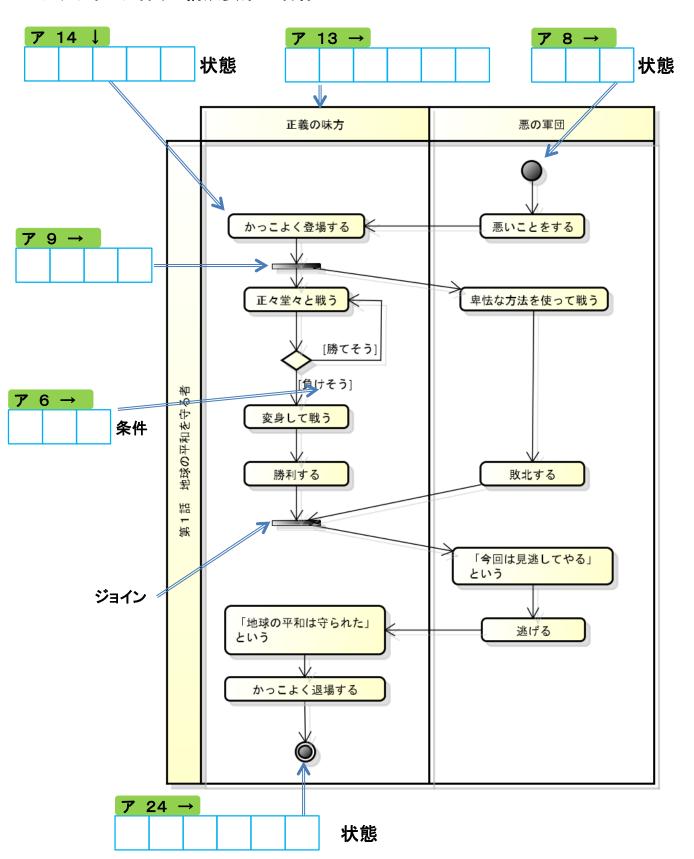
●上のユースケース図からわかること

A 22 ↓
「わたし」は 個のユースケースを利用できる。

3 正義の味方

Page 3

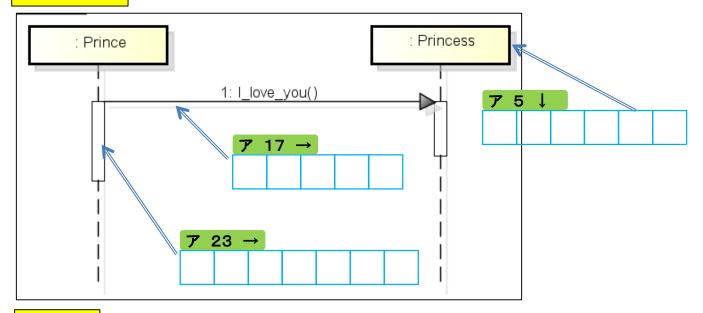
●アクティビティ図の構成要素の名称



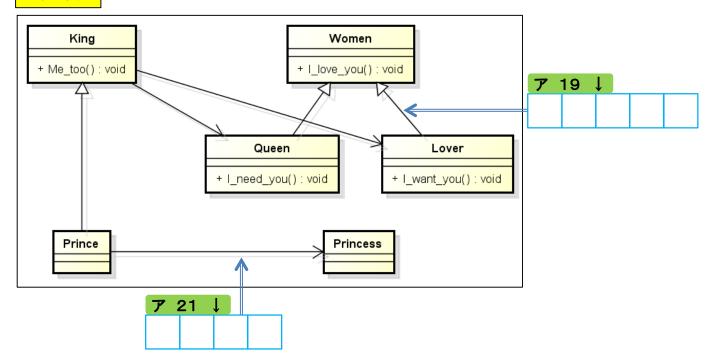
Page 4

●シーケンス図とクラス図の構成要素の名称

シーケンス図



クラス図



●上のシーケンス図とクラス図からわかること

上のクラス図では、Princessの親クラスに関する記述が抜けている。

Princessの親クラス(=スーパークラス)は、



プログラム

プログラムが正しく動作するようにすること

			23							
Public				•	Son {					
Robo	tSiste	ner doi r dorar	ni;	·						
pubi	ic Stri	ng sea	rcnz	H			Α	37	\rightarrow	
ret	turn d	loraem	on.						();	
}										
publ	ic Stri	ng sea	rch3	() {		A	28	3 1		
ret	urn d	lorami.							();	
}									_	
}										
public	class	RobotE	Broth	er {						

```
public class RobotBrother {
  public String searchB(){ return "マサイ族の首飾り";}
}
```

```
public class RobotSister{
public String searchS(){ return "素敵なネックレス"; }
}
```

Page 6

```
プログラム
```

プログラムが正しく動作するようにすること

```
public class Shinken {
  public String attack() { return "北斗神拳"; }
 public String message(){ return "北斗神拳は一子相伝";}
}
public class Tokiken extends Shinken {
  public String attack() { return "北斗有情拳"; }
  public String message(){ return "安らかに死ぬがよい"; }
                           A 25 1
public class Ryuuken extends
  public String attack() { return "七星点心"; }
}
                           A 33 →
public class Siroken extends
  public String message(){ return "お前はもう死んでいる"; }
public class SaikyoNoOtoko{
  public static void main(String[] args) {
    Shinken keisyosya;
                                      A 17 →
                                                ();
    keisyosya = new
   System.out.println( keisyosya.attack());
    System.out.println( keisyosya.message());
                                             A 14 -
    keisyosya = new
                                                ();
    System.out.println( keisyosya.attack());
    System.out.println( keisyosya.message());
```

実行結果

```
七星点心
安らかに死ぬがよい
七星点心
おまえはもう死んでいる
```

Black Butler プログラムが正しく動作するようにすること プログラム interface BasicButler { public A 7 → public String (); } public class BlackButler BasicButler{ public String (){ return "あくまで執事ですから。"; } A 4 public class WhiteButler BasicButler{ public String (){ return "わたしは執事ですから。"; } } public class SonoshitsujiYuno { public static void main(String[] args){ A 19 → sebastian; sebastian = new WhiteButler(); A 19 ↓ (); sebastian = new System.out.println(.sayReply()); A 18 → 実行結果 執事ですから。

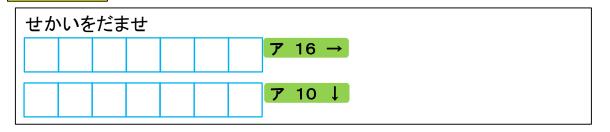
Page

孤独の観測者

Page

プログラムが正しく動作するようにすること プログラム

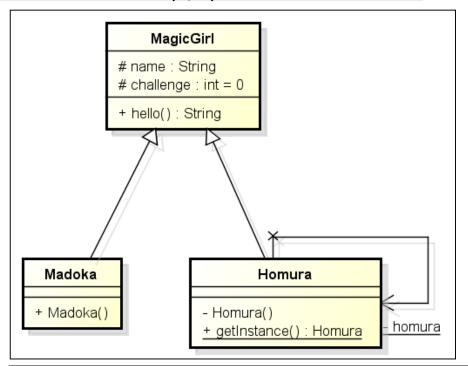
public class Labomem { public String sayHello(){ return "せかいをだませ"; } }					
public class Mayushi extends {					
public String (){ return "とうつとうるー" ; }					
A 24 →					
public class Daaluuu extends {					
public String (){ return "だが、ことわる" ; }					
class SGate{ public static void main(String[] args){ LaboMem okkalin = new LaboMem(); System.out.println(okalin.sayHello());					
LaboMem mayushi = new Mayushi(); A 11 →					
System.out.println(mayushi. ());					
LaboMem daaluuu =new Daaluuu(); A 36 →					
System.out.println(daaluuu. ());					
}					
· 字行結里					



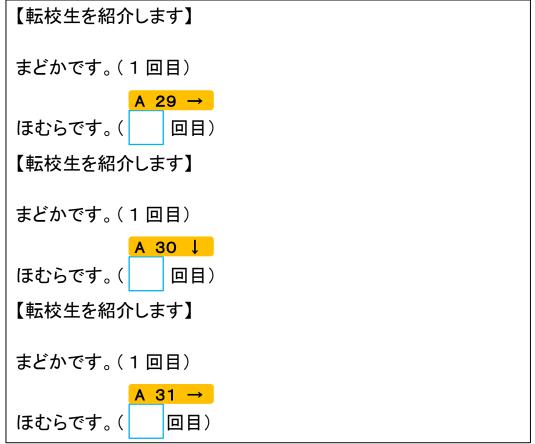
9 もうだれにも頼らない(1/3)

Page 9

クラス図



実行結果



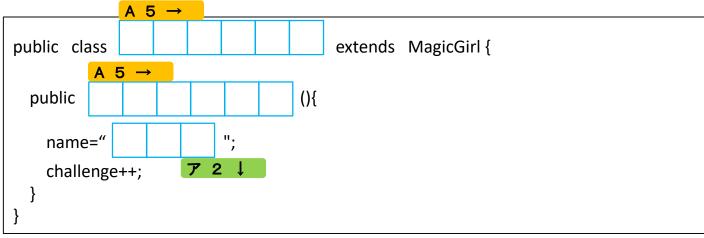
●このプログラムの説明このプログラムでは、
パターンを利用している。

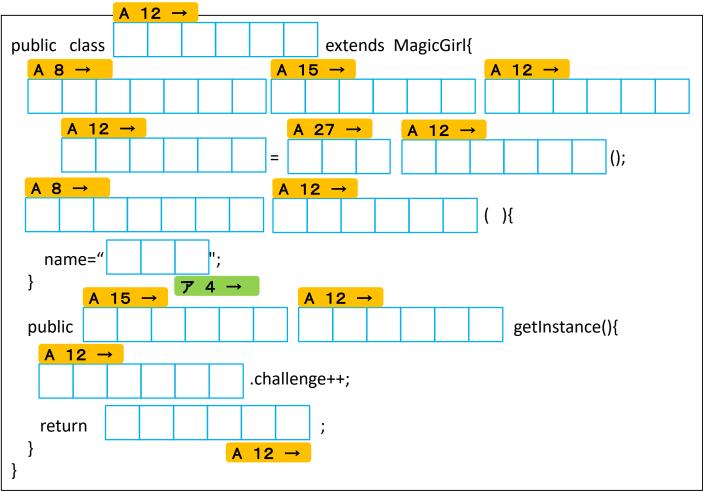
9 もう誰にも頼らない(2/3)

Page 10

<mark>プログラム</mark>※ヒント:クラス図を参照すること

```
public class MagicGirl {
  protected String name="";
  protected int challenge=0;
  public String hello(){ return "はじめまして。"+name+"です。("+challenge+"回目)"; }
}
```



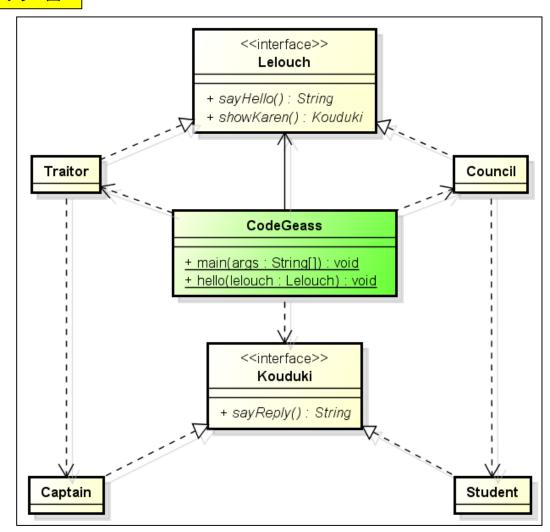


```
Page 11
```

```
public class MagicGirls {
 public static void main(String[] args){
   Madoka madoka;
   Homura homura;
   madoka = new Madoka();
   homura = Homura.getInstance();
   System.out.println("【転校生を紹介します】");
   System.out.println( madoka.hello() );
   System.out.println( homura.hello() );
   madoka = new Madoka();
   homura = Homura.getInstance();
   System.out.println("【転校生を紹介します】");
   System.out.println( madoka.hello() );
   System.out.println( homura.hello() );
   madoka = new Madoka();
   homura = Homura.getInstance();
   System.out.println("【転校生を紹介します】");
   System.out.println( madoka.hello() );
   System.out.println( homura.hello() );
}
```

Page 12

クラス図



実行結果

【通常時】

ルルーシュ「生徒会副会長です。」

カレン「私、病弱で。。。。」

【戦闘時】

ルルーシュ「わが名はゼロ!」

カレン「ゼロは私が守る!」

●このプログラムの説明

A 32 ↓ このプログラムでは

パターンを利用している。

